

わか草



第59号 令和3年7月1日
発行 東京都立東部療育センター
広報委員会
東京都江東区新砂3-3-25

NEW

東部フェスティバル

毎年十月に開催していた「オータムフェスティバル」の開催時期と名称を変更し、六月二十八日(月)・二十九日(火)の二日間、「東部フェスティバル」が開催されました。

◇テーマ◇

今年のテーマは「梅雨から初夏への移り変わる季節を、五感を通して感じよう」でした。



テーマに合わせて、梅雨体験をしたり、夏を感じられるように海で釣りをしたり、星空を見るなどのアトラクションを行ないました。

◇感染防止対策◇



新型コロナウイルスの影響で、外出等の制限があり、なかなか病棟から出る機会がありませんでしたが、今回は、岩崎院長の挨拶や職員バンドによる演奏は事前に撮影し、DVD上映する。アトラクションでは密にならないように三人程度のグループで行動するなど、感染防止対策を万全にして、病棟を飛び出しました。二階はプレイルーム、三階は研修室を使用してアトラクションを行ないました。

◇東部フェス、スタート!◇

オープニングは、岩崎院長の挨拶や職員バンドによる演奏のDVDを上映し、盛り上がりました。アトラクションの梅雨体験では、利用者の皆さんはカエルに扮し、弾むような道の上や、雨音を模したプチプチ道を通り、ミストを浴びて梅雨を感じました。弾む道での揺れでは笑顔が多く見られ、ミストには少しびっくりにした様子が見られました。釣りでは、職員と一緒に釣竿を操作してカラフルな魚を釣り上げる笑顔が弾けていました。



(三階西病棟 藤崎)

最後に、夕日から満天の星空へ移り変わる様子のプラネタリウムを見て、リラクゼーションの後に、トロピカルな雰囲気の中で、マンゴーパフェと一緒にノンアルコールビールやジュースを飲みました。皆さん、笑顔で美味しくいただきました。皆さん、笑顔で美味しく雨が心配されましたが、天候にも恵まれ、いつもと違う場所や雰囲気を楽しむことができました。

かもめ分教室
入学を祝う会

四月八日(木)に令和三年度入学を祝う会が行われました。小学部一名、中学部一名、高等部二名の児童・生徒が入学しました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、卒業を祝う会と同様に、会を進行する教室と入学生のある各病棟をリモートで繋ぎ、オンライン実施となりました。保護者の皆様、病棟スタッフ、利用者の方々に見守っていただきながら、新たなメンバーと共に、かもめ分教室で行事や学習に頑張っていきたいと思っております。
(かもめ分教室)

祝
乳幼児通所
入園式

四月六日(火)に令和三年度乳幼児通所ほろほろの入園式を行いました。今年度の新入園児は三名です。今年度も新型コロナウイルスの影響により入園児のみが参列し、在園児はZOOMでの参加となりました。全員が集まる機会が少ない中、ZOOMというツールで全員の繋がりを感ずることができ、素敵な式になりました。このような状況の中でも、無事に入園式を行うことができ、新たな門出をお祝いすることができたことに感謝したいと思います。
(乳幼児通所)

コロナ禍の短期入所を振り返って

―二〇二〇年度短期入所事業の実績―
副診療部長 荒井康裕

二〇一九年十二月八日に中国武漢市から端を発した新型コロナウイルス感染症は、翌二〇二〇年一月十六日に日本国内で初めての感染者が確認されました。以後、都内で感染が拡大し二〇二〇年四月七日から一回目の緊急事態宣言の発令となりました。五月二十五日に解除されましたが、その後も第三波の影響を受けて二回目の緊急事態宣言が二〇二一年一月八日に発令され三月二十一日まで継続されました。昨年度は二度の緊急事態宣言が発令され、日常の当たり前と思われることの多難さを改めて知ることにも多かったと思われまます。現在に至るまで家族や自分が感染したらと不安な日々を過ごされているご家族も多いと拝察されます。

昨年度はのべ547名が利用され新規入所(初めての短期入所利用)が17名でした。平均利用日数は6日間。年齢分布は1歳から55歳までと幅広い年齢層の方が利用されました(平均年齢18.4歳)。年齢別には1から10歳未満173名(31.6%)が最も多く、続いて10から20歳未満が136名(24.9%)、20から30歳未満が23名、30から40歳未満が83名(15.2%)、40から50歳未満が27名(4.9%)、50歳以上が2名(0.4%)でした。(図1)

居住地は江戸川区26%、江東区18%、葛飾区13%、墨田区12%、足立区7%(上位5区のみ記載)でした。コロナ禍における入所利用の理由は二〇一九年度と比べると「保護者の休養」が41%から53%へ、「ご家族の通院や入院」が7%から10%と増加し、一方「学校行事参加」が18%から12%、「旅行」が8%から2%へと減少しました。

利用児者に必要な種々の医療処置の中、呼吸管理および食事機能を中心とし点数化した重症児スコアを見ると25点以上の重症児者が53%、10から24点の準重症児者が38%、9点以下は9%と重症児者が半数以上を占めていました。非常に高度な医療的ケアを必要とする重症症・準重症症児者を合わせると91%にも及んでいたことになりまます。なお重症児スコアの平均を経年の見ても二〇一四年・二二・四、二〇一七年・二二・四、二〇二〇年・二二・五・三と徐々に重症度の増加が見られます。

医療的ケアに関しては約半数に気管切開術が施行されておりECMOを含む人工呼吸器管理を要する利用者は323名(59%)でした。呼吸器装着率は夜間など一時的に装着を要する人も含めて30から40歳未満が最も多く83名中60名(72.3%)を占めました。(図2)

短期入所では在宅での人工呼吸器を継続使用するため持ち込んでいたため多種にわたりが近年、機種が多種にわたりに16種類に及んでいます(二〇一八年度調べ)。各人工呼吸器は機種により操作が異なるため度々勉強会を行い、安全に使用できるよう努めております。

食事については胃瘻造設術が87%に施行されており10%は経鼻チューブによる栄養、残り3%が経口摂取者となっていました。頻回の吸引、吸入、排痰などの呼吸管理、食事に関する栄養管理、体位変換や清拭などのスキンケア等、日常生活に必要な医療的ケアは、私たち専門家にとっでする気の抜けない処置、対応であり、毎日これらをご家庭で日々行っている介助者の負担は計り知れないものと思われまます。今年三月に開催された江戸川区医療的ケア見支援の関係機関連携会議での医療的ケア見保護者に対するアンケートでは「日々の生活は緊張の連続である」、「介護



令和三年度日本重症心身障害福祉協会
全国施設協議会報告（オンライン開催）

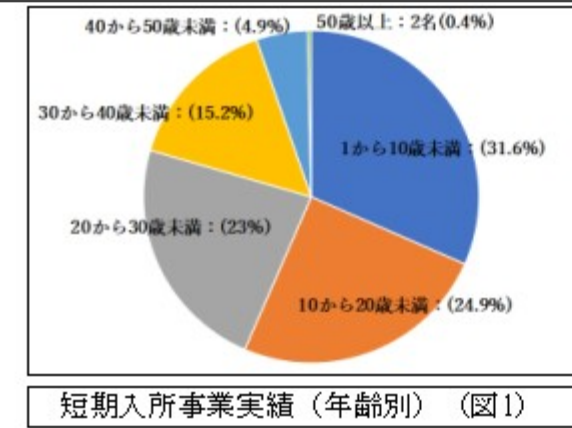
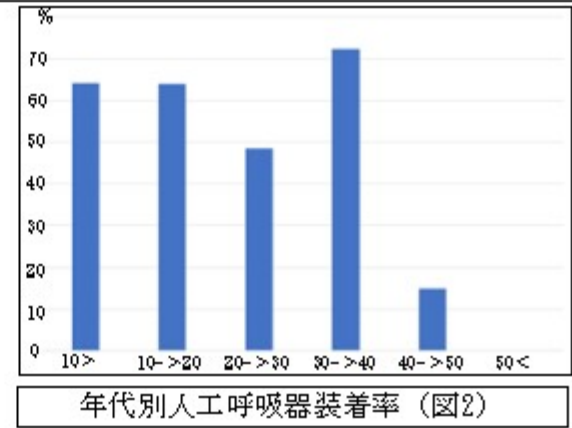
日本重症心身障害福祉協会とは、全国の公法人（旧）重症心身障害施設（現在の療養介護施設）で作られる公益団法人です。令和三年五月二十一日にオンラインで二十一日にオンラインで全国の施設協議会が開催されましたのでご報告いたします。

まず、五月二十日の定時総会では、理事長の玉先生からコロナ下での施設協議会や研修会などが中止となったことや、研修委員会の状況、課題、福祉サービスの状況、報酬改定などの事業報告、収支報告などがあられました。報告の後、五月十一日には、労働省より今年度の報酬改定に関する報告がなされました。主なものとして、地域化・移行・支援を提

供するための報酬体系の見直し（グループホームにおける重度化など）への対応（医療型短期入所に係る受け入れ体制の強化など）、医療的ケア児への支援などの障害児支援の推進などでした。

午後には、「新型コロナウィルス」最近の知見」とシンポジウムが開催され、各シンポジウムにより、それぞれの地域や施設での取り組みなどの発表がありました。シンポジウムでは、コロナウイルスに関する新しい知見を得ることができ、また各施設での具体的な取り組みや対応をうかがうことができました。

（院長 岩崎）



お知らせ
新型コロナワクチン
予防接種が始まっています

令和三年七月十二日から当センター利用者様の新型コロナワクチン予防接種が始まります。（詳細は当センターホームページをご覧ください）

それに先駆けて、当センター職員の二回目の接種も終了しました。当センターでは接種後も職員一同、感染防止対策に努めながら、安全に行っています。



接種の様子

部門紹介
設備用度係

設備用度係は、建物設備の維持管理や備品の修理・更新をすることにも、運営に必要な物品の調達・管理から廃棄・処分までを行っています。

物品等購入 医薬品、診療材料、消耗品、備品などの調達を行っています。昨年度は開設より使用していたX線CT装置や歯科ユニットなどの医療機器を更新しました。新型コロナウイルスの感染防止対策では、病室前に置く空気感染隔離ユニットなどを購入しています。

修繕・工事

昨年度は医療配管や監視カメラ設備の補修や更新などを計画的に実施しています。業務委託 主なものとして、建物管理、清掃、警備、洗濯、医事、給食調理、医療機器の保守管理などを委託しています。

事務室の一係としてこれからも限られた予算を計画的かつ有効に活用して、質の良い医療と療育。そして快適な環境を提供できるように、院内スタッフや取引業者とのコミュニケーションを大切に業務に邁進してまいります。（設備用度係長 佐竹）

通所
日常写真



春から初夏のセンターの動きです。

この三か月間は、新型コロナウイルスの「第四波」のまった中で、東京では、四月十二日から五月十一日までの予定で、二十三区と六市を対象としたまん延防止等重点措置が始まりましたが、四月二十五日には緊急事態宣言に切り替わり六月二十日まで延長・再延長されました。翌六月二十一日からは、再びまん延防止等重点措置が実施されています。この間、利用者の皆様の行事やセンターの事業運営が制限されていきました。

（四月）

今年も、新たに通所される方や新入職員を迎えて新年度が始まりました。六日には、乳幼児通所にお迎えする三名の方の入園式を行いました。また八日には、かもめ分教室で高等部二名、中学部一名、小学部一名の入学を祝う会が行われました。

東部あれこれ

利用者の方皆さんも職員も皆、新たな気持ちでスタートです。ただ残念なのは、新型コロナウイルス感染症に対応するため、これまで行っていたセンターの行事が大幅に制限されており、春に行われていた移動水族館などが中止になってしまいました。

（五月）

今年の梅雨入りは、東海地方で五月十六日頃というように、九州北部から東海地方までは平年より二十日以上早かったようですが、東京では中旬以降、雨や曇りの日が多かったのですが、梅雨入り

【編集後記】

今年の梅雨入りは、二十年で一番遅い梅雨入りとなりました。自転車通勤者には非常に助かります。

そんな梅雨ももうすぐ明け、夏休みの季節です。今年もコロナ禍で制限されることも多いのですが、美味しいものを食べたり、自然を観察したり、楽しい夏をお過ごしください。

（事務長 松浦）

今年も暑い六月です。最高気温が二十五度以上になった夏日が二十一日、三十度以上の真夏日が三日もありました。

そんな暑さにも負けず、今年も例年秋に行っていたオータムフェスティバルに替えて、東部フェスティバルを二十八日、二十九日の二日間開催しました。

（事務長 松浦）



【給食の紹介】調理いろいろ～食事疲れ対策 3～

前々号からご紹介しております「食事疲れ対策」について引き続きご紹介いたします。

私たちは、食事を摂る時にもエネルギーを消費しています。 — アレンジ例 —

- 重症児（者）にとって「食事疲れ」とは
 - 捕食から嚥下までに時間を要する状態
 - 食事開始から10～15分後くらいから出現
 - 完食までの時間が延長され、より疲労する状態

その結果、エネルギーが十分に摂れない場合が生じます。

そこで、不足するエネルギーを栄養剤で補う方法について栄養剤は、好みに合わせておいしくアレンジ！

対策③ 手軽なアレンジいろいろ

- 砂糖を加える
- 冷やす
- 濃いコーヒーや青汁、スポーツ飲料や牛乳・ジュース等を加える
- 服薬時の飲水として利用する
- 他の菓子やフルーツと一緒に食べる

注意 つづき

- ③在宅での材料購入費用は自己負担となります。インターネット価格を比較しての購入をお勧めします。
- ④体重・体調や便性の変化に注意し飲用を続けて下さい。